

平成 28 年 7 月

東京都建設局河川部
東京都南多摩東部建設事務所

境川金森調節池事業説明会（第 2 回）の議事要旨

東京都は、町田市金森 6 丁目の西田スポーツ広場の地下に整備予定の「境川金森調節池」に関して、昨年度に引き続き、地域の皆様を対象とした説明会を開催させていただきました。説明会当日の議事要旨を作成いたしましたのでご覧ください。

1 開催概要

【相模原市側】

日時	平成 28 年 5 月 22 日（日曜日）午後 1 時 00 分～午後 3 時 35 分
場所	相模原市中和田自治会館
参加者数	50 名

【町田市側】

日時	平成 28 年 5 月 22 日（日曜日）午後 7 時 00 分～午後 9 時 35 分
場所	町田市南市民センター内ホール
参加者数	60 名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨） ※上記 2 回の説明会を取りまとめています。

(1) 事業計画について

ご質問・ご意見	都の回答
西田スポーツ広場が調節池の適地である理由、その決定経緯は。	目標整備水準をレベルアップする方針において、境川の東京都管理区間で約 76 万㎡の調節池を適切な場所に分散して配置することが必要となります。また、効率的に整備するため、できる限り公共用地を使って整備したいと考えており、今回町田市の協力により西田スポーツ広場を使わせていただき、調節池を整備することになりました。
工事実施は決定か。	東京都としては調節池を作ることで決定しています。目標整備水準を時間 50 ミリ降雨から 65 ミリ降雨にレベルアップする方針のもと、境川を含め 9 つの対策強化流域を選定し、今年度、境川金森調節池を含め都内で 5 つの調節池整備に着手する予定となっています。
下流の県の整備はどうなっているのか。	神奈川県も河川整備を順次進めています。県の整備が完了するまでには、多大な時間がかかります。このため、東京都からも神奈川県に下流区間の整備促進を要望しています。また、今後も県と情報交換を行い、下流の県区間整備が進むにつれ、都区間の安全度も段階的に上がるよう整備していきたいと考えています。

(2) 工事全般について

ご質問・ご意見	都の回答
工事車両の通行ルートは。	大型車両が通行できるルートであり、かつ特定の地域に集中してご負担をお掛けしないよう複数のルートを選定することを基本とし、町田市側と相模原市側の 2 つのルートを利用することを考えています。他のルートは大型車両が通れない、通行時に対向車線にはみ出す等により使用は困難と考えています。なお、ルート上は大型車両がすれ違わないよう相互通行を抑制します。今後、工事説明会でルートの具体的な通行方向等詳しく説明させていただきます。
土砂の搬出先は決まっているのか。	まだ決まっています。搬出先が決まったら工事説明会等でご説明します。
都道や周辺道路等での待機車両対策は。	無線機の活用、誘導による車両管理、工事ヤード内に待機場所を確保する等により公道に車両が連なることがないようにします。また、工業者が別の待機場所を確保すれば、そちらでも対応します。
振動等による家屋被害に対して補償はどうなっているのか。	工事前後に家屋調査を実施し、工事が原因である被害が確認されれば補償を行います。通常は工事現場周辺が家屋調査対象となりますが、工事車両通行ルート沿道を含め調査範囲について検討し、今後、工事説明会で説明します。
通学路の安全対策についてはどう考えているのか。	事前に周辺の学校等にヒアリングをさせていただき、最も遅い始業時間が 9:00 であることを確認しました。そのため、大型車両の現場出入り時間を 9:00 以降とすることとしました。なお、下校時間は学校や学年等によりばらつきがあり、一様でないことを確認しています。車両通行を抑制することは工期が延びる等の影響があるため、しっかり安全管理を行うことで対応していきたいと考えています。今後、学校等の意見も聞きながら、交通誘導員の配置等安全対策を検討します。
本体工事はどこから行うのか。	工事はまず、工事用仮橋、人や自転車等が渡るための仮橋を設置するとともに、スポーツ広場の周り、相模原市側の旧河川敷（現広場）に騒音対策の 1 つとして防音パネルを設置します。
今年度実施予定の準備工事は具体的に何を行うのか。	前回事業説明会（昨年 9 月開催）でご意見のあった車両通行ルート上の騒音・振動対策として、痛んだ道路舗装を直す工事や支障物の移設などを行う予定です。具体的な範囲や方法は道路管理者である市と協議中です。
工事は土日、休日も行われるのか。	工事発注に際しては、土日作業を行わない事で工程計画を組んでいます。ただし、土日を含めて連続作業が必要となる可能性はあります。その際は、工事連絡協議会（仮称）や看板等により皆様にお知らせし、ご理解をいただきながら作業を行うことを考えています。
工事期間に上部のグラウンド整備も含まれているのか。	今回お示しした工事スケジュールは、東京都が施工する調節池工事のみのスケジュールとなります。上部の広場整備は今回のスケジュールには含まれておりません。

（裏面もご確認ください）

(3) その他

ご質問・ご意見	都の回答
スポーツ広場の代替地は確保できているのか。	現時点では、西田スポーツ広場のような空地はありません。今後のスポーツなどの広場利用については、市とともに利用者の方々と話ししながら、対応を進めていきたいと考えています。
調節池のようなハード対策では、減災への対応は限界だと聞いた。ソフト対策など治水対策について、もう少しマクロな視点で検討が必要ではないか。調節池事業を行うのは、時期尚早だと思う。	大雨はどこで降ってもおかしくないため、治水安全度を上げることは必要だと考えています。ソフト対策で人命を守ることは出来ますが、ハード対策を行わないと、床上浸水など、みなさまがお持ちの財産に影響を及ぼすこととなり、被害に合われた方は非常に不便な状況となってしまいます。このため、水害対策はハード対策、ソフト対策の両方を行っていきます。調節池事業は必要だと考えています。
工事連絡協議会（仮称）とはどういうものか。工事着手前に設置してほしい。	協議会（仮称）については、東京都で案を作り、市、町内会、学校関係者を含めて開催したいと考えています。具体的な内容についてはこれから検討します。協議会（仮称）では工事現場からの情報提供の他、地域の皆様からの情報やご要望等をお伺いする場と考えています。工事着手前の設置についても今後、検討します。
説明会の案内状が近隣の住民にしか配られていないのはどうしてか。	直接工事の影響を受ける工事用車両の通行ルート周辺エリアとして、平成27年9月に実施した事業説明会と同様の配布範囲としました（町田市側約1400世帯、相模原市側約600世帯）。今後、町内会等とも相談の上、配布範囲等を検討していきます。
説明会議事を見られるようにしてほしい。	前回説明会の議事要旨も今回の説明会案内に同封させていただきました。今回の議事録についても同様の対応を考えています。

※本議事録要旨を含め、説明会時配布資料等は、東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。(URL : <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

※平成28年秋以降、準備工事（道路補修工事を想定）の着手前に改めて説明会を実施いたします。また、平成29年夏頃、調節池本体工事の着手前にも説明会を実施いたします。

平成28年5月22日 事業説明会配布資料（抜粋）

5. 境川金森調節池の概要

【調節池全体計画平面図】

越流堤(上流側)120m
越流堤(下流側)75m
調節池
管理棟

施設概要

- ・貯留量: 約15万m³
(25mプールで、約420杯)
内訳 一次貯留約3万m³
二次貯留約12万m³
- ・形式: 地下式
(鉄筋コンクリート造、管理棟等一部は地上設置)
- ・施設規模: 長さ約190m、幅約90m
深さ約20m
- ・付属設備: 排水ポンプ、排気設備他
- ・管理棟: 地上2階(高さ=約11m)
地下1階(深さ=約7m)
建築面積600m²

<調節池断面図(イメージ)>

越流堤
一次貯留槽
二次貯留槽
境川

※イメージであり今後変更する可能性があります。

8. 工事スケジュール(予定)

工 期	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
準備工事 (道路補修・支障物移設)									
本体工事	調節池 (仮設・本體工)								
	越流堤								
管理棟設置工事									
機械設備工事 電気設備工事									
スポーツ広場利用 が可能な期間									
金山橋が 通行止めになる期間									
主な工事車両 通行予定		10tダンプトラック 最大約100台/日 コンクリートミキサー車 最大約80台/日							

<問い合わせ先>

○調節池の計画等に関すること 東京都建設局河川部計画課 TEL 03-5320-5415

○調節池の工事等に関すること 東京都南多摩東部建設事務所工事課 TEL 042-720-8644